出雲医療生活協同組合

2022年度のまとめと2023年度事業計画（案）
ダイジェスト版

2023年3月　理事会

新型コロナウイルス感染症の発生から3年目を迎える今年度も、その影響を受けつつも医療生協らしい活動と事業活動に挑戦した1年となりました。

地域では数年ぶりとなる交流企画や6年ぶりの「健康フェスタ」の開催などで、対面での交流の大切さに改めて気づかされました。「海岸清掃」「だんだんわけこ会」「ピロピロ☆こども元気教室」に加え、「つながり食堂」や「学VIVA」など新しい企画にも取り組み、つながりの輪を広げました。これらの企画はマスコミの取材も多くあり、地域社会で出雲医療生協の活動を広く知ってもらう機会にもなりました。

各支部の今年度の成果や課題を振り返り、来年度の取り組みにつなげていきましょう。

▲健康フェスタ2023

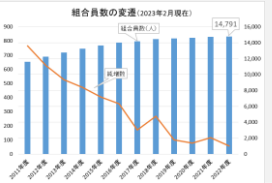
2022年度のまとめ

事業と経営

1、職員感染者やクラスターの影響で経営は厳しくなりましたが、補助金による経営支援もあり、今期の必要利益（2.2億円）に接近できました。
2、「中長期経営計画」（2021年度版）に基づき、事業運営を取り組んできました。この3年間は金融機関の借入金を増やさず推移できています。
3、事業所は「在宅両支援」「総合力と連携」「質の向上」などをキーワードに、地域から選ばれる事業所運営に努めました。

人づくり

1、生協の通信教育の受講を進め、地域組合員、職員を含めて過去最高の108名が受講しました。
2、「表彰規程」の改定を行い、よりシンプルに分かりやすいものに改定しました。
3、事業運営上欠かせない医師、看護師、薬剤師など有資格者の確保をすすめ、一定の成果がありました。
4、各支部で世代交代に努力をしていただき、配達員数は少しづつですが増えています。理事会や支部長会議では「担い手づくり」のグループ討議も行いました。
5、組合員拡大は近年は減少傾向です。コロナ禍で新しい層への働きかけができなかったり、事業所でもコロナ禍で接点を減らすことも影響しました。
6、昨年の総代会で「2030年ビジョン」を確認し、いくつかの支部でビジョン学習に取り組みました。



社会的役割

1、ロシアのウクライナ軍事侵攻については抗議行動に取り組み、「ナターシャグジー・コンサート」や映画「ひまわり」上映企画に協力しました。
2、原水爆禁止世界大会がオンラインで開催されました。組合員の方と職員で参加しました。
3、社保平和まちづくり委員会とひかわ生協、ひまわり福祉会と共同して「高齢者の聴力検査の無料化の請願」を出雲市に提出しました。
4、SDGsの活動として「海岸清掃」や「まちなか清掃」 に取り組み、昨年5月の「海岸清掃」はNHKでも放送　されました。医学生など若い方の参加も増えています。

▲海岸清掃

2022年度のまとめ

健康づくり・まちづくり

1、ピロピロを活用した班会や、通いの場から誕生した班会など、生協のもっとも基本的な活動である班会に工夫して取り組みました。
2、「すこやか」は生協と組合員をつなぐ架け橋ですが、配布活動を通して地域の大切な「見守り」にもなっています。「認知症シリーズ」の特集記事は大好評で、班会などの学習会に活用されました。
3、「居場所づくり」はまだ形になっていませんが、大津支部では医福連のコンテスト応募を契機に、大曲診療所と連携で「軒下カフェ」が始まりました。
4、フレイル予防としてはリハビリ技師の援助による「ストレッチ体操」が好評です。神西支部での「フレイルチェック」企画は年2回継続して取り組まれています。
5、「ピロピロ☆こども元気教室」の保育園での実施は、本年度は大津支部、古志支部、神西支部、長浜支部、上津支部に広がりました。
6、6年ぶりに「健康フェスタ2023」を「食と健康」をテーマに開催し、多くの支部や地元事業者の協力で500名の方の参加があり、次回開催を期待する声が多く聞かれました。
7、「お困りごとアンケート」の実施や、「だんだんわけこ会」などで生活でお困りごとをかかえる方の支援に取り組みました。また、今年度より新たに、ワーカーズコープと協同　で「つながり食堂」「学VIVA」を開始しました。
8、社保平和まちづくり委員会で「高齢者の聴力検査の無料　化の請願」を出雲市に提出しました。

▲神西支部「フレイルチェック」

▲古志支部「ピロピロ☆こども元気教室」

▲だんだんわけこ会

支部での話し合いのポイント

1. これまでの支部・班活動を振り返り、次年度の方針を話し合いましょう。とくに、健康づくりやフレイル予防企画などを地域の方にも呼びかけて、医療生協の活動を広げましょう。
2. 「誰もが健康で居心地よくくらせるまち」をめざして、支部や事業所の将来のありたい姿をみんなで考えてみましょう。そのために、地域の組合員のお困りごとや願いに耳を傾けましょう。
3. 新たな仲間づくりや増資活動、新班づくり、配達世話人づくりなど医療生協の「４課題」について目標を相談しましょう。

お問い合わせ　出雲医療生活協同組合
出雲市塩冶町1536-1　TEL　0853-21-2735　FAX　25-0622
URL　www.izumo-hewcoop.jp

出雲医療生協2023年度事業計画（案） メインスローガンと4つの重点課題

誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくりをめざします！

1 健康づくり・まちづくりの分野

感染防止対策は継続しつつ、創意工夫によって組合員のつながりる機会を増やします。また、健康の活動を多面的に取り組みます。

1、安心のネットワーク（人のつながり）を大事にします。
①班会を中心に、健康チェックやウォーキングなど、楽しみながら取り組める活動を進めます。
②すこやか配布でのつながりづくり、班会のない地域でのつながりづくり、身近な居場所を通したつながりづくりなど、工夫して取り組みます。
③「だんだんわけこ会」や「フードドライブ」、「つながり食堂」「学VIVA」などの企画をワーカーズコープやボランティアの方々など幅広い参加も得て取り組みます。

2、地域まるごと健康づくりに、組合員以外の方にも参加を呼びかけます。
①「オーラルフレイル予防」「すこしお」「認知症予防」「介護予防教室」など医療生協のブランド活動として広げます。
②「チャレンジ健康づくり」は組合員の一層の参加の輪を広げ、企業・団体などにも広げます。

3、くらしの助け合いの輪を広げます。
①4月から組織課は「まちづくりサポート課」と名称変更し、組合員活動・健康づくり・生活支援の3本柱で地域活動をサポートします。

2 事業と経営の分野

リハビリ病院の施設リニューアルなどの課題や必要な投資の財源づくりを「中長期経営計画2023年度版」に基づき取り組みます。

1、2023年度中期経営計画づくりに基づく予算と実践を進めます。
①「事業所独立会計制度」の導入などよりレベルの高い経営管理をめざします。
②「中長期経営計画2023年度版」に基づき事業運営を進め、これを経営評価の基本とします。

2、事業所の特徴を活かし、選ばれる事業として前進させます。

3、生協活動の財政基盤の強化の取り組み。
①増資は誰もが参加できる活動として、目標をもって取り組みます。
②積立増資（銀行引落）に切り替えや、件数増加をめざします。

3 人材の確保と養成の分野

医療生協を支える人づくりを進めます。また、法人の「2030年ビジョン」を活かす討議を進めます。

1、医療生協の方針を学ぶ機会を増やします。
①地域組合員と職員で医療生協の理念を学び、相互理解を進めます。
②学習を通して医療生協を周りの人に広げられる力をつけ、医療生協を支える人づくりを進めます。

2、医師・看護師など必要な職員の確保・育成・定着をめざします。
①生協や民医連の養成講座も活用し、幹部・リーダー養成に取り組みます。
②職員が生き生きと働ける職場環境を整備し、地域の中での役割を学び活かせることが働き甲斐になるように努めます。
③職員確保では、医師を含め夜勤可能な看護師・介護福祉士、薬剤師、ケアマネ等の採用を引き続き強化します。

3、組合員増やしと担い手づくりを若い層にも広げます。
①配達世話人をはじめ支部の担い手確保を進め、特に若い世代へのアプローチや、生協活動の「ちょっと支援者」（仮称）を広げる取り組みを進めます。
②地域で新しく担い手となった方への生協の役割を学ぶテキスト作成を進めます。

4、「2030年ビジョン」を活動の各分野に活かすための討議を進めます。

4 平和で公正な社会づくりの分野

憲法の理念と国民の人権を尊重できる社会をめざす活動を進めます。

1、平和と人権を尊重する社会づくりを取り組みます。
①平和憲法の改悪を許さない運動を推進します。
②自然エネルギー転換の世論を広げる運動に引き続き参加します。

2、暮らしをめぐる諸課題をつかみ、解決する「ちから」を高めます。
①社会保障推進の学習や無料低額診療事業の広報に取り組みます。
②支部でも地域の困ったへの相談体制を整え、解決する取り組みを進めます。

3、「持続可能な開発目標（SDGs）」を当生協としての社会的役割を生かす活動として継続していきます。

4、災害に強い病院づくりのため事業継続計画（BCP）を作成します。
①病院・診療所での事業継続計画を準備します。
②電子カルテに対する「サイバー攻撃」への対策づくりも具体化します。